

TECHNICAL DATA

仕上げの種類	結露防止シート建材
製品名	ケツロナインシート（重ね貼り工法）

初版 作成日： 2025年5月30日



菊水化学工業株式会社

◆製品概要：ケツロナインシート

構成：結露吸水層：ケツロナイン（色調：ライトグレー 日塗工：75-90A）
※ケツロナイン塗材の色調ライトグレーとは色味が異なります。

シート基材：ガラスシート

粘着層：アクリルエステル共重合物

シート重量：約0.9kg/m²

シート厚み：約1.1mm

補修材：ケツロナインシート補修材

荷姿：シート：サイズ450mm×450mm 30枚/セット（段ボール梱包）

補修材：1kg/ポリ容器（ケツロナインシート補修材）

◆施工上の注意点

1. 常時、高湿度の状態となる部位（プール・浴室・公衆浴場など）への施工は避けてください。
水分を吸湿した後、放出する時間が必要となります。
2. 汚れが滞留しやすい部位（梁の上部等）への施工も可能ですが、汚れが滞留すると吸放湿性を阻害する可能性があります。
3. 施工できる推奨下地は平滑面となります。
不陸が存在する場合は適切な下地処理を行ってください。
4. 予めテスト施工を行い、ケツロナインシートが密着するかの確認の上、本施工を行ってください。
5. 鉄部の発錆部などは、別途、さび止め塗料「SPプライマーエポ」を塗付後、施工を行ってください。
6. ケツロナインと同等の不燃性がありますが、不燃認定は取得していません。不燃認定が必要な部位については、ケツロナインをご使用ください。
7. ケツロナインとケツロナインシートを併用する場合は、下塗材⇒ケツロナインシート⇒ケツロナインの順に施工を行ってください。

◆ケツロナインシート層構成

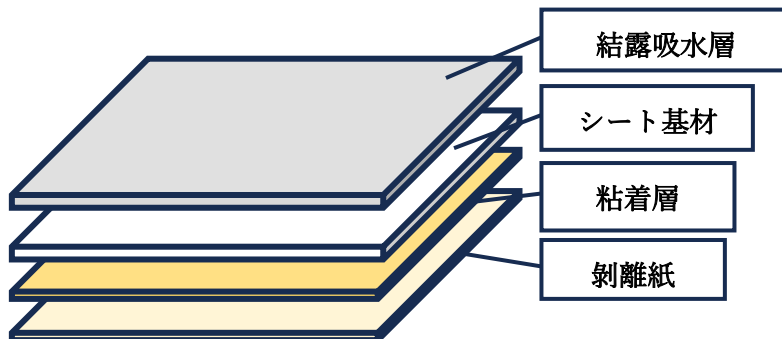


図1. ケツロナインシート層構成

◆施工方法

裏面にある剥離紙を剥がしながらシートの貼り付けを行ってください。

表1. 施工工程

No.	工程	内容
1	素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。
2	墨だし	墨出し器を使用して墨だしを行う。墨だしを行った後は必ず水平器を用いて水平の確認を行う。
3	貼り付け	シートは下段から進め、右から左の順、または左から右の順で貼り付ける。貼り進める左右の進行方向は面で統一する。重ね幅は2cm以上とする。 剥離紙を5～15cm程度剥がし、水平、垂直になるように仮止めをする。 その後、剥離紙をすべて剥がし、プラスチックローラーや、スキージーを用いて圧着する。
4	補修	施工中に発生した軽微な汚れは、メラミンスポンジ等で除去を行う。 入隅部、柱の角のひび割れ、表面汚れなどの処理を「ケツロナインシート補修材」で補修を行う。
5	清掃	残材、包装紙、離型紙などの片付け・清掃をする。
6	検査	工事検査を行う。

◆施工方法の詳細

墨出し

- ・施工する下地は、乾燥した清浄な平滑面としてください。
- ・墨出し器で墨出しを行った後は、必ず水平器を使用して水平の確認を行ってください。(写真2)



写真1. 墨出し



写真2. 水平器による確認

貼り付け

- ・ケツロナインシートの裏面には剥離紙が貼られています。
シート端の5～15cm程度、剥離紙を剥がしてしっかりと折ってください。(写真3)

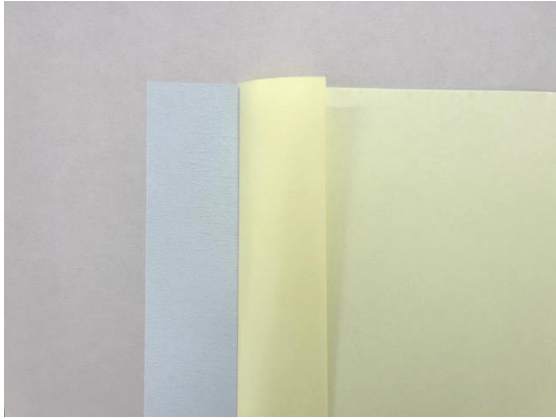


写真 3. 仮止め用処理

- ・シートは下段から進め、右から左の順、または左から右の順で貼り付けます。
貼り進める左右の進行方向は面で統一します。
- ・重ね幅は 2cm 以上となるように貼り付けます。

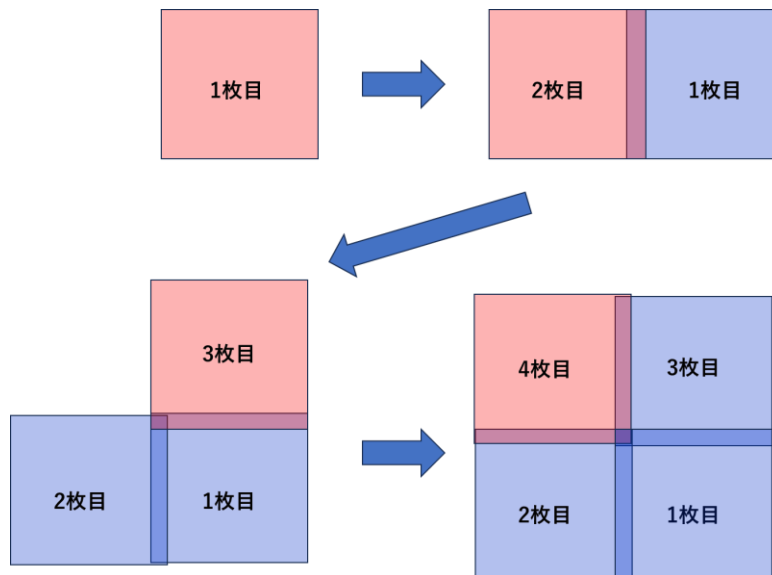


図 2. シート貼り付け順 例その 1

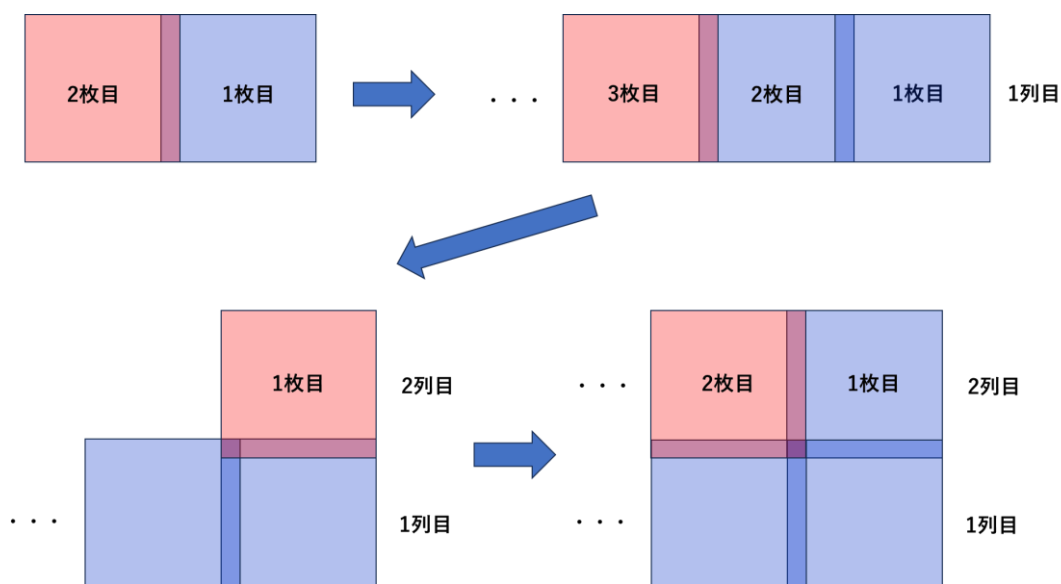


図3. シート貼り付け順 例その2



写真4. 目地部

- ・シート上（下）部・左（右）部を水平、垂直に合わせ、剥離紙を剥がした端を固定します。その後、剥離紙をすべて剥がし、プラスチックローラーや、スキージーを用いて圧着してください。（写真5、6）
- ・特に、重ねた目地部はしっかり圧着してください。
- ・入隅部分など、ローラーでの圧着が困難な箇所は、ラスタースタンプなどを用いてしっかりと圧着してください。（写真7）
- ・入隅、出隅の目地部は、突きつけで貼りつける。または、重ね幅を2cm以上とし重ね貼りをする。



写真5. プラスチックローラー



写真6. スキージー



写真7. ラスター刷毛による入隅圧着

- ・シートは一度貼り付けると粘着剤層が剥がれなくなります。剥がそうとすると結露吸水層から剥がれますので、ご注意ください。
- 剥がれてしまった場合は、ケツロナインシート補修材を剥離箇所に塗布し、圧着してください。

補修

- ・施工中、軽微な汚染が発生した場合は、メラミンスポンジを用いて軽くこすってください。
- ・メラミンスポンジで落とせない汚れや、折り曲げ部分のひび割れなどは、専用の補修材料「ケツロナインシート補修材」を用いて補修を行ってください。
- ・補修したい箇所に、補修材料を刷毛などでなるべく平滑に塗布します。
- ・乾燥後、やすりを用いて、補修周りとの境目を目立たないようにします。
- ・コーナー入隅部分の隙間などは、ケツロナインシート補修材を用いてパテ処理を行ってください。

(写真8)



写真8. 入隅パテ処理

◆施工可否

- ・基本的に、金属（鉄）、セメント系（コンクリート・モルタル）などへの密着性は良好です。
- ・ただし、予め、テスト施工を行い、ケツロナインシートが密着するかの確認の上、本施工を行うことを推奨します。

表2. 施工可否一覧

金属	鉄	施工可
	ガルバリウム	
	亜鉛	
	アルミニウム	
	ステンレス	
プラスチック	ポリアミド	
	ポリエチレン	
	ポリプロピレン	
その他	コンクリート	
	ケイカル板	
	石膏ボード	
	壁紙	

以上